

鬼怒川水害後の 地域復興

参加費
無料

定員
40名
応募多数時、
抽選

～国籍を越えた自主防災の取り組み～

2015年9月、鬼怒川の決壊で甚大な被害を受けた茨城県常総市。
水害後、外国籍住民が増加しており、日本語のわからない人も少なくありません。
未だ復興途上にあるこの地で、外国人と日本人が垣根を越えて
誰もが安心して暮らせるまちを目指して活動されている横田氏。
同じく多くの外国人が住む浜松市が参考にしたい、多文化共生をコンセプトにした
居場所づくりや自主防災の取り組みなどの試みを紹介します。

2022.11.26^土

10:00~11:30 (受付 9:45~)

浜松市防災学習センター 3F講座室

形式 会場受講 対象 どなたでも

申込

● ホームページ上の申込フォーム

右記のコードより

※締切後、抽選結果をメールにてお知らせします。



● 往復はがき郵送 [11月18日(金)必着]

以下内容を往復はがきにご記入の上、当センターまでご郵送ください。

※締切後、抽選結果をはがきにてお知らせします。

〒430-0941 浜松市中区山下町192番地

①講座名 ②参加者氏名 ③年代 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号

締切 2022年11月18日(金)

講師 横田 能洋 氏

(認定NPO法人茨城NPOセンター・コムズ代表理事)

仲間と設立した茨城NPOセンターコムズでNPO法人化など市民の相談に応じてきた。2009年から自宅のある常総市で外国人支援を始める。その拠点が2015年の鬼怒川洪水で被災。発災時は多言語での被災者支援情報の発信、移動支援立ち上げ、サロンなど全国各地からの支援と被災者を繋いだ。その後水害で増えた空き家を6棟改修し多文化保育園、カフェ、シェアハウスとして運営。多文化を活かしながら自主防災と地域の復興に取り組んでいる。



〔往復はがきの書き方〕

63

〇〇〇〇〇〇

返信

参加者住所
参加者氏名

〇〇〇〇〇〇

- ①講座名
- ②参加者氏名
- ③年代
- ④郵便番号
- ⑤住所
- ⑥電話番号

63

4300941

返信

浜松市
防災学習センター
〒430-0941 浜松市中区山下町192番地

この面には
何も
書かないで
ください



浜松市防災学習センター公式LINE

講座やイベントの最新情報を配信します！
ぜひ「友だち登録」してくださいね♪

